

平成27年第2回市議会定例会における主な課題対応

総務部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
[一般質問] <山崎議員> 道道美唄富良野線の開通に向けた観光交流拡大戦略について	開通に向けた観光交流の戦略づくりを進めて行く。	本年度策定する「地方版総合戦略」の中で検討を行う。
<吉岡(建)> 若者移住・定住施策として、移住定住促進助成制度の創設について	市移住・定住推進協議会の中で、引き続き検討して行く。	市移住・定住推進協議会での検討も含め、本年度策定する「地方版総合戦略」の中で検討を行う。
公共機関での個人情報保護の取り扱いについて	引き続き、職員研修、職場内研修などを通じて、個人情報保護の徹底に努めてまいる。	昨年に引き続き、地方公共団体情報システム機構が実施する情報セキュリティ・個人情報保護研修を行う。
<森川議員> 人口減・少子化対策について	本年度策定する「地方版総合戦略」の中で検討を行う。	同左。
ジオパークの取り組みに関する考え方について	「地方版総合戦略」を検討する、市総合計画審議会戦略専門部会の中で、検討を行う。	同左。
<谷村議員> コンパクトシティ構想について	市都市計画マスタープランに基づき、コンパクトなまちづくりの実現のため、都市計画のデザインを行う担当課を中心に庁内組織を設置して、構想を策定する。	同左。
<川上議員> 旧東栄小学校跡地利用について	公共施設等総合管理計画において、施設のあり方について精査する。	同左。

平成27年第2回市議会定例会における主な課題と対応

市民部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
予算審査特別委員会 (吉岡委員) ○「燃やせるごみ」に含まれる紙類が8割を占めるということだが、ごみの減量化に向け資源化を図っていくべきではないか。 (土井委員) ○ストックヤードから岩見沢市への「燃やせるごみ」の運搬について、来年度当初予算で購入しても、発注後、納車まで8カ月かかるというのであれば、今年度中に発注すれば、それだけ、現行車のリース期間も短くて済みトータルコストを削減できるのではないか。 また、紙類の資源化を図り減量を進めていけば、新たなパッカー車は必要ないのではないか？、もしくは必要であっても6トン車でなくてもいいのではないか？	紙類を別に回収するとなると、トラックや収集員の増員が必要となり、経費の問題もあるが、他の自治体の収集例を参考に十分に検討していきたい。 現状では、パッカー車の増車は必要と判断をしており、車両購入で1,600万円かかるが、過疎債の対象となるため、市の持ち出しは480万程度となるが、岩見沢市への負担金とのバランスも考慮の上、購入時期や来年4月から使用を開始することも含め、検討していく。	今後、他市の実施状況、紙類の回収範囲、回収方法等を調査の上、市で行うとなった場合の想定スケジュール（廃棄物減量等推進審議会、市民周知、市議会）を作成していく。 今後、パッカー車の購入計画や年度内の購入等について、財政課とも協議していき、出来るだけ早い時期に結論を出していく。

平成 27 年第 2 回市議会定例会における主な課題と対応

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
食料備蓄拠点構想実現に向けた取り組み策について伺う (松山議員)	ホワイトデータセンター構想と連動し、関係団体や道庁に設置された支援チームと連携し取り組む。	7/28、「支援チーム」との打ち合わせ ＜道社会資本課国土強靱化担当課長・空知総合振興局地政部長他＞
WBC構想実現に向けた取り組み策について伺う (松山議員)	美唄市とIT企業2社との包括連携協定やNEDOの空知団地内に雪冷房システムやデータセンター等の実証施設の稼働後に視察会の開催など、国内外で広く発信していくとともに、道庁内に関係部署からなる支援チームと連携し、構想の実現を加速させる。	同左
美唄市では、立地企業に対して、聞き取り調査や従業員の福利厚生など、どのようなフォローアップを行っているか (松山議員)	美唄市産業振興条例に基づいた助成・研修講座への一部支援や福利厚生支援のほか、本社企業との情報交換を行っている。 今後においても、立地企業へのフォローアップの充実に努める。	産業振興課・商工観光課において、企業訪問をはじめとしたフォローアップの方法について検討中。

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
ふるさと納税の返礼品の充実に向けて、どのように考えているか。(松山議員)	民間ポータルサイトの活用や札幌圏・首都圏などでのPRとともに、企業訪問等でのパンフレット配布でのPRのほか、市内事業に対して、魅力ある新商品企画を促すなど一層の充実に努める。	食味コンクール日本一に輝いた農業者の「おぼろづき」を返礼品に追加
海外観光客の受入態勢についてどのように考えているか。(丸山議員)	新篠津や岩見沢市・三笠市と連携し、受入れの課題整理を継続協議するほか、タイや台湾からの観光客の誘致を継続し、主要観光施設の従業員や市民を対象に、英語やタイ語の研修会を実施し、より一層、受入れ態勢の整備に努める	タイでの旅行業開業に向けタイ人来美<7/19～7/26 まで美唄市内・周辺自治体の観光ルート・施設調査> 地域人材開発センターでのタイ語研修会を実施予定<秋口>
本市の特産品等の販路拡大に向けた取り組みについて(丸山議員)	道が進める東南アジア諸国への道産農水産物の輸出拡大に向けた取り組みや農協などが参加する商談会などにおいて、外国人の嗜好などの情報収集を行い、一層海外への販路拡大に努める。	北海道銀行主催の商談会に参加 8/26・8/27 北洋銀行主催の商談会に参加 9/2・9/3 〈農協・市内事業者〉
地域おこし協力隊の活動状況について、市民にどのように周知するのか。(丸山議員)	本市のフェイスブックや地域おこし協力隊の活動ブログや広報誌メロディーに定期的に活動記事を掲載し、市民周知を図る。	左記のほか公用車の「地域おこし協力隊」のステッカーを貼付し市民周知を図る。

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
ハスカップ・アスパラの作付面積増加へ向けた取組について (丸山議員：一般質問)	昨年度から農協と生産者が連携して取り組む、ハスカップ苗木導入事業の支援を始め、1,000本を導入し、収穫労働力も、社会福祉施設、シルバー人材や地元高校との連携により確保に努めているところ。市としては、今後も関係機関と連携し、苗木補助の継続や労働力確保の取り組みを推進し生産拡大や収穫量の確保を図っていく。アスパラガスも、生産拡大へ向けて関係機関などと協議を進めていく旨の答弁。	本年度も6月下旬からのハスカップ収穫期に向けて社会福祉施設、シルバー人材や地元高校との連携により収穫労働力の確保に努めた。苗木補助は本年度2,230本分を予算措置しており、秋までの導入分で一括して補助金交付申請がある予定。本年度は昨年事業に取り組んだJAびばいに加え、JAみねのぶも事業を実施。アスパラは、今シーズンの収穫終了以降にJAと協議予定。
農業政策の変革期の中で米を基幹作物とする市は、今後、どのようなビジョンに立って農業施策を行っていくのか伺う (丸山議員：一般質問)	各地域農業再生協議会とともに認定農業者の経営改善実現を促進し、経営の規模拡大にあつては、水稻直播栽培の普及、先進農業技術の導入推進をはかり、水張り面積と農業所得の確保に向け「飼料用米」普及定着と収量向上を図ることも必要と考えている。本市の農業関係団体・機関、生産者が連携し、消費者に信頼される売れる農作物づくりを基本としつつ、新規就農者の確保、育成、就農者の営農技術の習得支援、担い手への農地の利用集積などにより経営安定を図り、地域農業を担う方々が意欲と希望を持って農業経営を営むことができる、強い農業経営の確立を目指していく旨の答弁	「びばい未来交響プラン後期基本計画」の農業振興で、「強い農業経営基盤づくり・消費者に信頼される産地づくり」を目指す姿の2本の柱とし、具体的な施策の方向で取組事項を掲げた。今後、これを基本として「美唄市産業振興計画」中に農業振興を盛り込むとともに、従来の「農業ビジョン」に当たる具体的な進行管理計画については、道の農業・農村振興推進計画（第5期）や各JA策定の振興計画とも整合性を図り、新年度へ向けて関係期間・団体と内容を詰めていく。

平成 27 年第 2 回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
旧美唄工業高校跡地に公営住宅を整備するにあたって、基本的な方向性について伺う。 (吉岡議員 一般質問)	「びばい未来交響プラン後期基本計画」における施策の方向性と整合を図りながら、コンパクトで、暮らしやすいまちづくりを目指し、十分に市民の皆さんの意見を取り入れながら、必要財源も含めて、具体的な検討を進めたい。	平成 27 年度 6 月より策定 公営住宅等長寿命化計画策定において、既存公営住宅の建替え、修繕、改善などの活用手法を策定。 (内容) ・公営住宅の状況把握 ・入居者アンケート ・供給戸数など整備方針の検討

平成 27 年第 2 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨		答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	「教育の日」制定について。 (一般質問：谷村議員)	11 月 1 日の「北海道教育の日」と合わせ、美唄市の「教育の日」の制定について、退職校長会の取組みと関わりを持ちながら進めていく。	H27 ・退職校長会による準備会への参加 H28 ・子どもに関わる団体のネットワークづくり ・「教育の日」制定
2	美唄サテライトキャンパス事業受講者が成果を生かす実践活動について (一般質問：丸山議員)	講座終了後、意向調査を行い、意向等を確認の上、実践活動に結び付けていく方法を検討する。	・11 月 受講者等への意向調査 ⇒ 方法検討
3	教育改革への対応について (一般質問：丸山議員)	教育上の今日的課題を調査研究して、本市の対応の方向性を 12 月を目途にまとめる。	7 月 調査研究組織発足 12 月 まとめ 3 月 教育に関する大綱策定 (総合教育会議) H28～地域、保護者への情報提供、意見交換

平成27年第2回市議会定例会における主な課題対応

病院事務局

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
新病院を建設するにあたり、市民の声を聞く体制について伺う。 (吉岡議員)	公立病院改革プラン策定にあたっては、市民委員会など市民の皆さんからご意見を聞く場を設けてまいりたい。	・公立病院改革プランの策定にあたり、市民委員会を設置（12月目途） ・市民説明会及びパブリックコメントについては、改革プランと道が策定する地域医療構想との整合性を図りつつ、進捗状況を見極めて実施